

取扱説明書

品質保証書付



IX-101L

水銀フリー体温計
なん°Cかな
医療機器届出番号：11B3X10053IX101L

ガリウム体温計

わきの下で
4分
計測
以上

【収納ケース】

拡大鏡 台座

清潔！
水洗い

●このたびは、オンスクエア製品をお買い上げいただきありがとうございます。●安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。●本書は、品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

お手入れについて

- ・体温計は、水洗いを行い、いつも清潔な状態でご使用ください。
- ・本体と収納ケースを洗う際には、水で洗ってください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、水で洗った後、洗剤をよく拭き取ってください。
- ・消毒する場合は、本体を消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させてください。
- ・消毒液等に浸さないでください。超音波洗浄や熱湯消毒はしないでください。

保管について

- 体温計は、収納ケースに入れて保管してください。
下記のようなところには保管しないでください。故障（破損）の原因になります。
- ・水のかかるところ。
 - ・高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりが多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - ・振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
 - ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

検温値がおかしいな?と思ったら...

確認すること	対処方法
検温するごとに体温計をあてる位置が違う。	「体温の測定方法」をご確認ください。
検温中に体温計がずれてしまった。	再度正しい位置にあて、検温してください。
検温中にわきを開いてしまった。	わきを閉じて再度検温してください。

※体温はその日の気温や時間帯、室内温度、睡眠状況などの要因で変動します。事前に自分の平熱を知っておくことが大切です。

製品に関するお問い合わせはこちらまで

オンスクエア株式会社 [製品サポート窓口](#)

☎ 048-242-3220 support2@onsquare.jp

※土・日・祝祭日を除く午前10:00～午後5:00まで受付 ※都合によりお休みや受付時間を変更させていただくことがあります。

安全上のご注意

●お使いになる前に必ずお読みください。●ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき使用者や他人への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

警告、注意について

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を意味します。

警告

●乳幼児の手の届くところに保管しない。また、子供だけで使わせない。自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。●検温結果の自己診断や治療をしない。自己診断は、病気が悪化する原因になります。医師の指導にしたがってください。●わきの下以外（耳や口の中）で検温しない。本製品はわきの下専用体温計のため、正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。●本体が水などでぬれた状態で検温しない。正しい検温ができません。

注意

●人の検温以外に使わない。正しい検温ができません。動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。●本体を噛まない。●感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしない。事故や故障（破損）の原因になります。●指定外の環境条件で保管したり、使ったりしない。正しく検温できないことがあります。

仕様

販売名	水銀フリー体温計 IX-101L	測定範囲	35.5℃～42.0℃
医療機器届出番号	11B3X10053IX101L	使用環境条件	-15℃～42℃
類別	機械器具 16 体温計	保管環境条件	-15℃～42℃
医療機器分類	一般医療機器	外形寸法	幅12×長さ128×厚さ9mm
測定方式	ガリンスタン液の熱比例膨張方式	本体重量	約8g
測定精度	+0.1℃/-0.15℃	付属品	収納ケース、ラベルシール 取扱説明書(品質保証書付)、医療機器添付文書

保証規定

1. 取扱説明書の注意書きにしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障（破損）した場合には、無償にて同一製品と交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障（破損）して交換する場合には、オンスクエア製品サポート窓口または、ご購入の販売店にご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には交換はできません。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変などによる故障および損傷。
(ニ) 品質保証書の提示がない場合。
(ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、または販売店で発行されたお買い上げを証明するものがない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(ヘ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。

品質保証書

通常のご使用において万一不具合が生じたときは、保証規定により、お買い上げ後1年間は無償にて同一製品と交換いたします。※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

販売名	水銀フリー体温計 IX-101L
ご氏名	
ご住所	
TEL	()

※以下につきましては、販売店にて記入、捺印していただくか、販売証明書（販売店のレシート等）をもってご確認ください。

お買い上げ店名	Ⓜ
住所	
TEL	()
お買い上げ年月日	年 月 日

Better information to more people
Square

オンスクエア株式会社

〒332-0034 埼玉県川口市並木3-9-1 第二新永ビル 4F

☎ 048-242-3220 <https://www.onsquare.jp/>

正しく測定するために

- ・運動や入浴、飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- ・起床後、動く前に測るか、安静にして30分以上あけてから検温してください。
- ・わきの下が汗ばんでいるときは、汗をきれいに拭き取ってから検温してください。
- ・長時間布団の中にいたりして、熱がこもっているときは、こもった熱を冷ましてから検温してください。

体温の測定方法

1 収納ケースから体温計を取り出します。

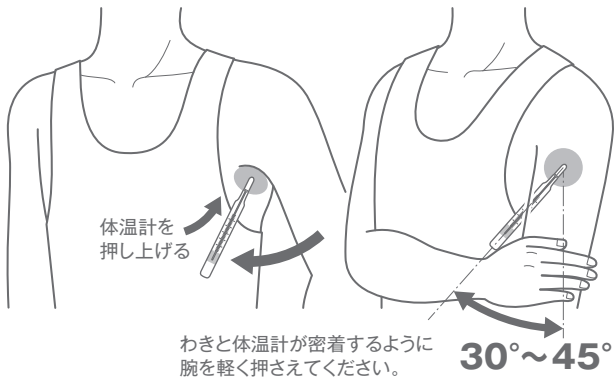
- ・ガリンスタン液柱が36℃未満になっていることを確認してください。
 - ・下がっていない場合には体温計を振って液柱を下げます。
- ※液柱の下げ方は「液注(温度)の下げ方」「台座を使った液注(温度)の下げ方」を参照してください。

2 わきの下で測定します。

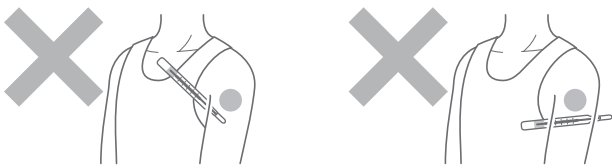
- ・体温計の感温部がわきの下の中央部にくるようにしっかりと挟みます。
- ・そのまま4分以上測定します。温度上昇には個人差がありますので、より正しく体温を測るには、約10分間温度変化がなくなるまで測り続けてください。あらかじめ、わきを閉じて温めておくと上昇が速いです。

正しい体温計のあて方

体温計をわきの下から押し上げるようにはさみ、わきをしっかりとしめます。



正しく挟めていない例



上から差し込むと、わきの中心にあたらなくなってしまいます。

横から差し込むと、わきの下から体温計の先端が出てしまいます。

3 検温値を確認します。

- ・所定時間経過後、液柱の最上部を目盛りで確認し、検温値を読み取ります。
- ・検温値が見えづらい場合は、拡大鏡付の収納ケースに体温計を入れて目盛りを確認してください。

4 収納ケースに体温計を収納します。

- ・使用後は液柱を36℃未満に下げてから、収納ケースに入れて保管してください。
- ※液柱の下げ方は「液注(温度)の下げ方」「台座を使った液注(温度)の下げ方」を参照してください。

液注(温度)の下げ方動画

製品サポートページアドレス

https://www.onsquare.jp/products_support/faq.html

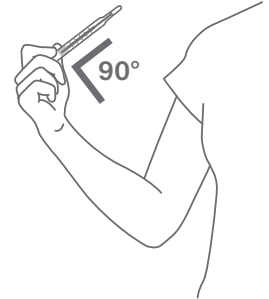
液注(温度)の下げ方

※周囲にぶつかるような物がない事を確認してください。

1 体温計の端をしっかりと持ちます。

POINT

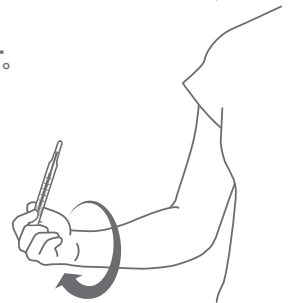
手首と90度の角度に持つ!



2 手首のスナップを使い上から下へ強く振り振ります。

POINT

手首をひねり素早く回す!



3 体温計の先が下を向いたところで、振りを止めます。

POINT

勢いよく止める!



4 この動作を5~10回繰り返します。

上記の方法で下がらない場合は台座をご使用ください。

台座を使った液注(温度)の下げ方

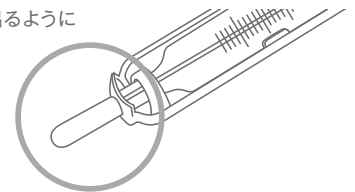
※周囲にぶつかるような物がない事を確認してください。

1 台座に体温計をセットします。

2 上記「液注(温度)の下げ方」と同様の動作をしてください。

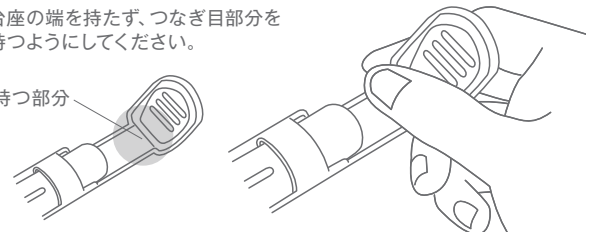
台座使用時のポイント

※ケース穴より先端全体が出るようにセットしてください。



※台座の端を持たず、つなぎ目部分を持つようにしてください。

持つ部分



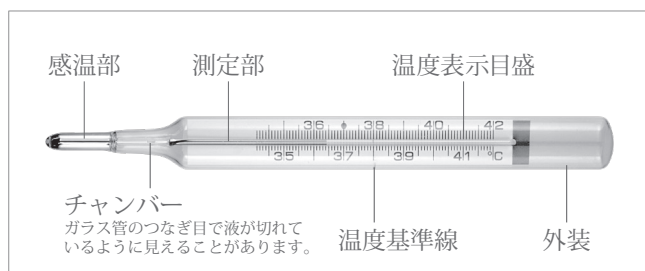
水銀フリー体温計 IX-101L

【禁忌・禁止】

- ・ 検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。（自己診断は、病気が悪化する原因になります。）
- ・ 人の検温以外に使用しないでください。
- ・ 本製品はわきの下専用の体温計です。わきの下以外（耳や口中など）で検温しないでください。
- ・ 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ お子様だけのご使用はさけてください。

【形状・構造及び原理等】

＊1. 主要部の形状と名称



2. 構成

付属品

- 収納ケース 1個
取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書付）1部

3. 本体寸法及び重量

- 外形寸法：幅12×長さ128×厚さ9mm
本体重量：約8g

＊4. 作動・動作原理

本製品は、上部と下部が密閉されたガラス製の細い中空管にガリンスタン液が充填された構造で、毛細管原理に基づいて機能し、熱によって目盛付きカラムに充填された媒体が比例的に膨張する。

＊5. 性能及び安全性に関する規格等

- (1) 測温範囲：35.5℃～42.0℃
- (2) 保証された精度：+0.1/−0.15℃
- (3) 環境にやさしいガリンスタン測定液を採用している
- (4) 簡単な洗浄と硝子体の安全な消毒により100%衛生を保つことが可能
- (5) 完全防水仕様
- (6) 収納ケース付き

【使用目的又は効果】

感温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測り、一定時間後に最高温度を表示すること。

＊【使用方法等】

- (1) ガリンスタン液柱が36℃未満に下がっていることを確認する。下がっていない場合には体温計を振って液柱を下げる。

- (2) 体温計の感温部をわきの下で挟み4分以上そのままに保つ。感温部がわきの下の中央部にくるようにしっかりと挟む。温度上昇には個人差がありますので、より正しく体温を測るには、約10分間温度変化がなくなるまで測り続けてください。あらかじめ、わきを閉じて温めておくと上昇が速いです。
- (3) 所定時間経過後、液柱の最上部を目盛りで確認し、測定温度を読み取る。
- (4) 使用後は液柱を36℃未満に下げておく。

【使用上の注意】

- (1) 周囲温度が−15℃～42℃の範囲で使用してください。
- (2) 検温中、感温部をわきの下に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてください。また、大幅に動かさないでください。
- (3) 運動や入浴後は、30分以上あけてから検温してください。
- (4) 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30分以上あけてから検温してください。
- (5) わきの下が汗ばんでいるときは、わきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- (6) 本体や収納ケースに強い衝撃を与えたり、落としたり、踏んだりしないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- (1) 次のようなところに保管しないでください。
 - ・ 水のかかる場所。
 - ・ 高温多湿のところ、直射日光があたる場所、暖房器具のそば、ほこりが多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - ・ 振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
 - ・ 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所。

- (2) 保管環境条件：−15℃～42℃

2. 耐用期間

標準的な使用期間：無期限（ガラスの破損が無い場合）

【保守・点検に係る事項】

- (1) 故障した場合は勝手に修理せず、分解せず、製品サポート窓口にご連絡ください。
- (2) 勝手に改造しないでください。
- (3) 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
- (4) 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- (5) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布で拭き取ってください。
- (6) 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2～3回拭き取ってください。

＊【製造販売元及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売元：オンスクエア株式会社
電話番号：048-242-3220（製品サポート窓口）
E-mail：support2@onsquare.jp
製造元：ゲーラテルム・メディカル株式会社
Geratherm Medical AG（ドイツ）

取扱説明書を必ずご参照ください。